

京都まちとみどり写真コンクール

緑は、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っております。

この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「まちの水と緑」、「まちの緑と公園」、「緑とのふれあい」など都市緑化をテーマとした京都府内の写真を募集し、「第31回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。今回は特別賞として「京丹波町長賞」を設け、646点の応募作品の中から入選作品38点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京都府

京都市

(公財)京都府公園公社

(公財)京都市都市緑化協会

(一社)京都造園建設業協会



平成27年度

京都

まちとみどり

写真コンクール入賞・入選作品集

賞	題名	氏名
京都府知事賞	苗、頂戴!!	古田 正洋
京都市長賞	キミの未来へ	片山 智士
特別賞(京丹波町長賞)	秋を背負って	王鞍 謙一
(公財)京都府公園公社理事長賞	万物流転(天地間の全てのもの。生と死、入れ変わること)	辻 俊策
(公財)京都市都市緑化協会理事長賞	春のチンチン電車	山下 文行
(一社)京都造園建設業協会会長賞	鴨川寸景	大田 嘉治
京都府市長会会長賞	幸せなひととき	小倉 正紀
京都府町村会長賞	語らい	福島 一芳
京都新聞賞	駆け抜ける	小巻 真司
KBS京都賞	青春	西 正幸
エフエム京都賞	新緑に誘われ	福田 佳子
NHK京都放送局賞	癒しのひと時	三浦征志浪
奨励賞	はじまり	馬場 建
優秀賞	涼を求めて	小和泉春男
	ちょっと寄り道	田中 雅之
佳作	森の本屋さん	深井 征子
	夜明けのねぎ畑	植原 達男
	憩いの道	大久保信子
	みどりのトンネル	大森 信盛
	鴨川の桜棚を走る自転車	小川喜代子
	ある街角で	神内 宏輝
	黄金色の中で	小北 健一
	新緑の酒蔵	小西 由朗
	共に暮らす	佐藤 孝夫
	晩秋	澤田 靖子
	瑞穂の北嵯峨	塩見 芳隆
	鴨川茶店	角田 剛彦
	光の中の通学路	田上 哲次
	美しい茶畑	富永 良明
	憩いの一時	中川 圭一
	黄昏時のカルガモカップル	中澤 俊之
	歓喜の声響く	中村 敏明
	深緑の粧い	西橋 弘
	深呼吸	長谷川善也
	玉雲寺冬隣	堀田 邦夫
旅行者	本城 利彦	
暫しの憩	森 昭	
	朝日を浴びて	山本 敏夫

(敬称略)

京都府知事賞



「苗、頂戴!!」古田 正洋
南丹市美山町

京都市長賞



「キミの未来へ」片山 智士
蹴上インクライン(京都市左京区)

特別賞(京丹波町長賞)



「秋を背負って」王鞍 謙一
船井郡京丹波町曾根

(公財)京都府公園公社理事長賞



「万物流転(天地間の全てのもの。生と死、入れ変わること)」辻 俊策
京都府立山城総合運動公園(宇治市)

(公財)京都市都市緑化協会理事長賞



「春のチンチン電車」山下 文行
梅小路公園(京都市下京区)

(一社)京都造園建設業協会会長賞



「鴨川寸景」大田 嘉治
鴨川堤防(京都市東山区)



京都府市長会会長賞



「幸せなひととき」小倉 正紀
舞鶴市



京都府町村会会長賞



「語らい」福島 一芳
久世郡久御山町佐古清水(東角幼稚園)近辺

京都新聞賞



「駆け抜ける」小巻 真司
小畑川河川敷(京都市西京区)

KBS京都賞



「青春」西 正幸
下鴨神社糺の森(京都市左京区)

エフエム京都賞



「新緑に誘われ」福田 佳子
京都府立植物園(京都市左京区)

NHK京都放送局賞



「癒しのひと時」三浦 征志浪
鳥羽水環境保全センター(京都市南区)



奨励賞



「はじまり」馬場 建
淀川河川公園(八幡市)



優秀賞



「涼を求めて」小和泉 春男
琴滝(船井郡京丹波町)



「ちょっと寄り道」田中 雅之
玉川堤防(綴喜郡井手町)



「森の本屋さん」深井 征子
京都御苑(京都市上京区)



佳 作



「夜明けのねぎ畑」 植原 達男
久世郡久御山町東一口付近



「憩いの道」 大久保 信子
京都府立植物園(京都市左京区)



「みどりのトンネル」 大森 信盛
京都府立植物園(京都市左京区)



「鴨川の桜棚を走る自転車」
小川 喜代子
半木の道(京都市左京区)



「ある街角で」 神内 宏輝
麩屋町蛸薬師(京都市中京区)



「黄金色の中で」 小北 健一
宮津市須津



佳 作



「新緑の酒蔵」小西 由朗
京都市伏見区



「共に暮らす」佐藤 孝夫
西九条(京都市南区)



「晩秋」澤田 靖子
京都御苑(京都市上京区)



「瑞穂の北嵯峨」塩見 芳隆
北嵯峨(京都市右京区)



「鴨川茶店」角田 剛彦
鴨川堤防(京都市左京区)



「光の中の通学路」田上 哲次
梅小路公園(京都市下京区)



佳 作



「美しい茶畑」 富永 良明
相楽郡和束町下島



「憩いの一時」 中川 圭一
南丹市



「黄昏時のカルガモカップル」
中澤 俊之
鴨川堤防(京都市上京区)



「歓喜の声響く」 中村 敏明
玉川(綴喜郡井手町)



「深緑の粧い」 西橋 弘
大原三千院(京都市左京区)



「深呼吸」 長谷川 善也
京都府立植物園(京都市左京区)



佳 作



「玉雲寺冬隣」堀田 邦夫
船井郡京丹波町市森



「旅行者」本城 利彦
白川(京都市東山区)



「暫しの憩」森 昭
京都御苑(京都市上京区)



「朝日を浴びて」山本 敏夫
与謝郡伊根町



第31回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 越智 信喜(京都写真家協会 副会長)

総評

今年の第31回京都まちとみどり写真コンクールの応募総数は、前年より100点を上回る646点の応募がありました。応募者数も200名を超える方々から寄せられ、各地域に広くこの写真コンクールが浸透してきたと嬉しく思います。緑がある自然の中に笑顔や愛が写し出された作品、景色の中から人生が描かれ語りかけられてくるような作品など、さまざまな視点から撮影されたレベルの高い作品が多く集まりました。毎回応募してくださる方も多く、作者の試行錯誤や努力の後が見える作品がありました。それらの作品を通して、カメラを常に持ち歩いて、楽しんで写真撮影をされている方々の姿が目に見えます。ただ残念なことに、せっかく心打つ良い写真なのに、テーマに沿っていない作品があり選外にさせていただくものがありました。それとプリントについて、最近は家庭で簡単にプリントが出来る時代になって来ていますが、写真用紙でない紙で応募されている作品もありました。作品はプリントで決まると言っても過言ではありません。今回は、テーマに合わせた作品、そして写真用紙にプリントして応募されることをお願いしたいと思います。

最後に、中高齢の方々の作品応募は多くありましたが、25歳以下の若い方の応募が意外にも少なかつたことです。写真愛好家の中高齢の方々にお願いします。写真の良さ、撮影の楽しさを若い方にお教えお伝え下さい。そして写真コンクールに応募する事も添えてお話ししていただければ幸いです。

1 京都府知事賞 「苗、頂戴!!」 古田 正洋

美山町のお田植え祭を撮影された一コマです。五穀豊穡を願う伝統行事で、お揃いの菅笠にかすりの着物、真っ赤な袖隠しの早乙女たちが、大きく広がった青空と澄んだ空気と周りのみどりに包まれた中、元気に楽しく田植えをしようとする動きのある写真に仕上がっています。写真を見ていると、ハツラツとした笑顔から声が聞こえそうです。「苗、ちょうだい!」と。元気が良く、明るく楽しい動きのある素晴らしい作品です。

2 京都市長賞 「キミの未来へ」 片山 智士

一本のレールの上をまっすぐに、バランス良く進む姿が、前後の良いポケ具合が奥行きのある印象的な作品に仕上がっています。題名を見て、君はどんな顔をして未来に向かっていくのかと、ふと顔を見たくなくなってしまいました。完成された構図で作者の世界観が感じられます。とても良い作品になっています。

3 特別賞(京丹波町長賞) 「秋を背負って」 王鞍 謙一

青空の下、遠く山の裾野まで広がる稲穂が揺れる黄金一色の彩りが、目に飛び込んできます。稲穂で作られた蛙の顔なのかユニークな絵が、お米を作る農業に携わる方々の愛情が伝わり、ワンポイント「LOVE」の文字が、農業を愛する意味を深めていると感じます。京丹波町の人達の温かさを感じる作品になっています。農業を営む人々の姿が画面に写されていれば、より動きのある温かさいっぱいの写真になったかと思えます。

4 (公財) 京都府公園公社理事長賞

「万物流転(天地間の全てのもの。生と死、入れ変わること)」 辻 俊策

難しいタイトルがついていますが、この作品を選ばせていた理由は、静と動のコントラストです。後方では公園でラグビーの試合をしている選手の動きと、前方では、それを見ている地面に座っている人たちの静かな時間。それを間にある大きな立木が静と動を分けている、このコントラストがこの作品を引き締めていると感じました。全体的に、もう少し回りを切り詰めトリミングされると、もっと作品に力が出るかと思えます。

5 (公財) 京都市都市緑化協会理事長賞 「春のチンチン電車」 山下 文行

今は閉館してしまいましたが、梅小路蒸気機関車館の館内で旧北野線(京都駅から北野天満宮まで運行)を走っていたチンチン電車です。そのチンチン電車の運転手さんになりたいのだろうか?子供の目、浴線で咲く春の花で囲まれた花の間から、憧れの目で眺めている男の子。それを運転手さんが笑顔で答えている。運転手さんと男の子の微笑ましい春の風景が描かれています。思わず笑顔になり心温かくなる良い写真です。

6 (一社) 京都造園建設業協会会長賞 「鴨川寸景」 大田 嘉治

京都の名所と言えば、鴨川が外せませんね。京都もビルが立ち並び大都会に近づいてきたようにも思えます。その中での憩いの場、鴨川川岸。春になれば桜の花が咲き乱れ、親子連れやカップル、男女のグループなどの話し声や笑い声が聞こえてきます。その癒しの風景を、作者は切り抜こうとシャッターを切ったのだと思います。京都、鴨川の四季がこの作品にあります。構図ですが、石垣を切り詰め、もう少し青空を多く画面に取り入れられたもっと明るい春の季節感が出たかと思えます。

7 京都市市長会会長賞 「幸せなひととき」 小倉 正紀

画面いっぱいに広がる緑の中に、親子の愛を感じる写真です。ボールを蹴ったけれども、足がボールに当たらず空振り、シュート失敗。それを笑顔で見ているお母さん。子供の成長を見守る親子愛、我が子を見守る母親の愛情が、この写真から伝わってきます。とても良い写真です。ただ構図的には、右端の木のあたりで切り取りトリミングされると、写真全体が引き締まります。これからは、構図も考えていただければ、良い写真が描けると思えます。

8 京都府町村会長賞 「語らい」 福島 一芳

長く本格的に写真撮影を続けておられる写真愛好家の方と察します。コメントでは、RAWで撮影されていると書かれていました。爽やかな秋、稲刈りの作業の休み、大地の恵みに感謝されている仲の良いご夫婦の笑顔が、その感謝の気持ち

が大きく物語っています。その瞬間を人差し指がシャッターボタンを押さえた、目の前の景色が作者の心を自然にその行動にさせたんだと確信します。とても良い写真です。

9 京都新聞賞 「駆け抜ける」 小巻 真司

大文字駅伝の予選会、迫り来る後方の走者とのデッドヒートがなんとしても先頭を守りたいという必死の顔がうかがえる。一生懸命に走らなければ、勝たなければ本選に出場できないと思う走者の顔の瞬間が写されている写真です。そして応援する沿道の群集、それに答えようとする選手たちの熱戦が繰り広げられる光景が捉えられています。「がんばれ!」と大声をかけてしまいそうな写真です。

10 KBS京都賞 「青春」 西 正幸

秋の修学旅行、「うきうき」の気持ちは止まらないんでしょう?落ち葉の敷きつめられた秋色の中での記念撮影、Vサインで自撮りをしている女生徒たちの笑顔と喜び嬉しさの姿が見えそうな写真です。そして木々の紅葉と赤に近い落ち葉が、時を静かに過ぎ行く秋の屋下がりを描いているようにも思えます。

11 エフエム京都賞 「新緑に誘われ」 福田 佳子

家族は、始まったばかりの若いパパとママとまだ歩き始めたばかりの幼子。緑の並木道に木々の間から差し込むやわらかい日の光に浮かび上がる若いパパとママが見つめる先は、幼子への眼差しと愛情が醸し出されています。そんな場面に出会えることも写真撮影する作者の技量だと思います。どんだん町に繰り出し写真撮影をして下さい。新たな出会いに期待します。

12 NHK京都放送局賞 「癒しのひと時」 三浦 征志浪

藤棚の下、お弁当を広げるお年寄りたち。一味も二味も美味しく味わえると想像します。毎年ここでお昼を過ごされるのでしょうか?藤棚からこぼれ落ちる柔らかな陽の光と藤の紫色が彩りを感じさせられます。タイトル通り、大いに癒されます。是非、来年はここでお昼を味わいたいと思う気持ちにさせられる癒しの写真です。

13 奨励賞 「はじまり」 馬場 建

ソフトタッチでハイキーな春爛漫の桜並木と曲がりくねった路が描かれた印象的な写真です。有名な印象派のカミール・ピサロのような画風に似た思いもしました。入選が決まってから審査会担当者にお聞きしましたが、前回は奨励賞をお取りになった方でした。ご自分の世界観をお持ちのようで、他の25歳以下の作品と比べて断然に高い評価でした。また来年の写真コンクールで頑張ってください。上位の賞を狙える力があります。

14 優秀賞 「涼を求めて」 小和泉 春男

静かな山間の緑に包まれた中に、音を立てて流れ落ちる滝が、とても涼しさを感じる写真となっています。森林から飛び出すマイナスイオンと滝のしぶきがここまで押し寄せてくるような気もします。その滝を見ながら涼を求めて二人の女性が会話をしている。滝の流れ落ちる音で会話が消されてしまわないよう大きな声で話しているのかも知れません。そんな風に想像してしまいそうな写真だと感じます。

15 優秀賞 「ちょっと寄り道」 田中 雅之

大胆にも画面いっぱいに春の日差しに輝き咲く桜を取り入れている。その大胆さが春爛漫を感じさせられる作品になっています。そして、右隅にカップルが光り輝く桜に目を奪われ、桜を愛でている姿がある。コメントでは、カップルがサイクリング途中、咲き誇った桜に気がつき、つい自転車から降りて桜に見惚れていると書かれていました。誰が見てもこの光景には、うっとりしますよね。

16 優秀賞 「森の本屋さん」 深井 征子

絨毯のような落葉の上に立っている小さな本屋さんがある。気に入った本が高い場所にあるのか背伸びいっぱい、そこに手をいっぱい伸ばし本を取ろうとしている幼い子。写真を見ている視線は、その姿に引き込まれるようにそこにいく。作者もその姿が強く感じたんでしょうね。手を伸ばした瞬間、シャッターチャンスを逃さず、良いタイミングで撮られています。